

Japan
Handball
Association



<input type="checkbox"/>	社会人
<input type="checkbox"/>	学生
<input type="checkbox"/>	高専
<input type="checkbox"/>	高体連
<input type="checkbox"/>	中体連
<input type="checkbox"/>	小学生

<input type="checkbox"/>	全国大会
<input type="checkbox"/>	ブロック大会
<input type="checkbox"/>	都道府県大会

<input type="checkbox"/>	男子
<input type="checkbox"/>	女子

試合 番号	女4
----------	----

年月日	2024 年 3 月 24 日 (日)
大会名	令和5年度 第47回全国高等学校ハンドボール選抜大会 Presented by MIZUNO

公 式 記 録 用 紙

A	熊本市立千原台高等学校										県立玉野光南高等学校						B
都道府県	三重県			市町村	津市			会場	サオリーナ メインAコート						回戦	1回戦	
前半	A	B	最終 結果	A	B	第1 延長	A	B	第2 延長	A	B	7m70- コント	A	B			
7m得点/総数	A		チームタイムアウト			チームタイムアウト						B	7m得点/総数				
	2/4	1	2	後	3	1	2	後	3	0/1							
		2752	2113			1212	0901	2659									

No.	千原台	G	W	2'	D	DR	No.	玉野光南	G	W	2'	D	DR
1	佐々木 夢愛						1 c	村瀬 咲音					
2 c	河上 亜里沙	10		1			2	濱田 みやび	1		1		
3	高橋 妃葉里	8					3	稲田 乃愛	2				
4	河内 瑠璃	1					4	海野 心彩	1	1	1		
5	橋本 幸奈	2					5	山崎 裕愛	8		2		
6	高野 聖音	4					6	野田 しのの	3				
7	本田 結那						7	甲野 葵					
8	宮本 瑠乃亜	3					8	前田 華鈴	7				
9	中尾 鈴蘭	3					9	井上 優					
12	山田 桜												
監督A	米村 貴世史						監督A	平松 恭子					
役員B	小松 史果						役員B	細江 守男					
役員C							役員C	小畑 貴章					
役員D							役員D						

A	チーム役員A署名										B
---	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

特記事項

レフェリー	大東 賢典	尾田 雄祐		
T D	小橋 太	栗田 顯		
MO				

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

試合 番号	女4	女子 [④]
----------	----	-------------

令和5年度 第47回全国高等学校ハンドボール選抜大会
Presented by MIZUNO

試合結果・戦評報告書

競技日	3月24日 (日)	会場	サオリーナ メインコート		
種別	女子	回戦	1回戦		
Aチーム名			Bチーム名		
熊本市立千原台高等学校			県立玉野光南高等学校		
得点合計	小計	period	小計	得点合計	
31	18	前半	8	22	
	13	後半	14		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			
戦評		記載者氏名	星野智司		
<p>前半、3年ぶり10回目出場の玉野光南からのスローオフで試合が始まった。両者緊張でボールをうまく取れない場面があったが、開始59秒、玉野光南No.6野田がシュートを決めて試合が進みだした。そのあと、3年連続4回目出場の千原台No.8宮本がサイドシュートを決めて、4分21秒No.2河上、さらに、6分11秒No.5橋本がシュートを決めて、さらに、No.2河上が7mTを決め、玉野光南のNo.8前田、No.5山崎がシュートをするが、千原台のディフェンスに阻まれて徐々に玉野光南との差が開きだし、玉野光南のNo.5山崎の退場で前半18対8で千原台が優勢で折り返した。後半戦は、両者シュートが決まらず、2分6秒千原台No.2河上がミドルシュートを決めて後半戦が動き出した。千原台No.8宮本、No.2河上、No.9中尾がシュートを決めて差を広げていった。玉野光南9分19秒、No.5山崎が2本シュートを決めて、No.8前田も決めて点差を縮めていく。そのあとは両者シュートを決めていったが、最後まで点差が縮まらず、31対22で千原台の勝利で終わった。敗者の玉野光南も相手のミスを狙っていたが、千原台のディフェンスが固く、崩すことができなかった。</p>					